



京都・嵐山と愛媛・砥部町。
 時を経て、同門の二人が今再び：
 それぞれの故里で奏でる想いと音色。

三村哲子

細田真子

Piano と Piano

2台ピアノ故里公演



(公財)青山音楽財団助成公演

2021年3月20日(土・祝) 17:00開演
 16:30開場

青山音楽記念館によるコロナ感染症防止
 ガイドラインを下記のURLからご確認ください。
<https://barocksaal.com/news/2979/>
 QRコードをスマートフォンやタブレット端末のバーコードリーダーで読み
 取ってください。



- ・モーツァルト 2台のピアノのためのソナタ ニ長調 K.448
- ・ブラームス ワルツ 作品39 《2台ピアノ版》
- ・ショパン 2台のピアノのための Rondó ハ長調 作品73
- ・ルトスワフスキ パガニーニの主題による変奏曲
- ・ラフマニノフ 組曲 第2番 作品17 他

コロナ対策のため席数制限があります。
 状況により、増減が予想されますので
 ご了承ください。
 ※未就学児の入場はご遠慮ください。

チケット販売
 青山音楽記念館 TEL. 075-393-0011

バロックザール
 Barocksaal
 幕 青山音楽記念館

お問い合わせ
 TEL 075-393-0011
 〒615-8282 京都市西京区松尾大利町9-1
 受付時間 9:30~18:00 休館日 月・火曜日

一般 ¥3,000
 学生 ¥1,500

livepocket
 ticket
 ライヴポケット
 下記のURLからチケットのご購入が出来ます。
<https://t.livepocket.jp/e/20210320>
 QRコードをスマートフォンやタブレット端末のバーコードリーダーで読み取っ
 てください。



京都・嵐山と愛媛・砥部町。

時を経て、同門の二人が今再び…
それぞれの故里で奏でる想いと音色。

愛媛・砥部町編 2021年6月予定

三村 哲子 SATOKO MIMURA と 細田 真子 MASAKO HOSODA 2台ピアノ故里公演



三村 哲子 SATOKO MIMURA

3歳よりピアノの手ほどきを受ける。京都市立芸術大学音楽学部在学中より演奏活動はじめ、同大学卒業後、第13回飯塚新人音楽コンクールに於いて第2位入賞。また、“演連コンサートOSAKA(文化庁助成公演)”の第1回ソリストに選ばれ、デビューリサイタルをいずみホール(大阪)にて開催、さらに、その成果に対し平成7年度大阪文化祭奨励賞を受賞する。その後、主に関西地方を拠点に精力的にリサイタルを開催、なかでも1998年から2年間4公演にわたり挑戦した、ドビュッシーピアノ作品全曲シリーズは、斬新かつ繊細な演奏スタイル、自らが執筆した詩による曲目解説などが、新たなコンサートの形態として多くの共感を生んだ。シリーズ終了後、集大成として2000年7月、デビューCD、ドビュッシーピアノ作品集『Poissons d'or ~金色の魚~』をリリース。また、同年12月にバロックザールに於いて開催したリサイタルの成果により、2000年度青山音楽賞を受賞し、研修披露演奏会では、シューマンをテーマに取り上げ、なかでもマルチヌー弦楽四重奏団とのピアノ五重奏は特に高評を得た。その後、チェコでのソロリサイタルのほか、ロシア、エストニア、チェコへ室内楽奏者として招待されるなど海外での活動、またソリストとして活動するほか、オーケストラとの共演、室内楽、歌曲の伴奏にもレパートリーを意欲的に広げる。2015年からは、ヴラニエ市(セルビア)で毎年開催されているピアノフェスティバル“PIANO SUMMER VRANJE”に参加、リサイタルのプログラムをショパン作品を中心に選曲、中でもピアノ協奏曲第1番(ピアノ五重奏版)は、海外の聴衆からも高評を得た。同年11月には、シューマンの『幻想(ファンタジー)』をタイトルに持つ作品を集めたセカンドCDをドイツにて録音、リリースする。2016年からは、“哲子の部屋”と題したレクチャーコンサートを開始し、クラシック音楽の広い世代への普及にも力を入れる。2018年には、トルコ在住のヒュンソク・テケン氏と『ピアノデュオ・Hera(ヘラ)』を結成、ファーストアルバムは、シュタイングレーバー&ゼーネ(ドイツ:パイロイト)をスポンサーに世界リリースを予定するなど、国内外で意欲的に活動している。

演奏活動のかたわら、京都女子大学などにおいて後進の指導にもあたる。これまで、故安川加寿子、松井和代、芝 令子、矢部 民、岡原慎也、クラウス・シルデの各氏に師事。



細田 真子 MASAKO HOSODA

愛媛県出身。砥部焼大使。東京藝術大学卒。在学中より演奏活動に従事し、イタリアナポリでのデビューリサイタルを皮切りに国内のトッププレーヤーとの共演、おしゃべりクラシックコンサート等の活動他、現代音楽の初演なども積極的に手掛けている。2002年雑誌『ラ・ブリヴェ』創刊号、2004年~2005年『郵便貯金』にてエッセイを執筆。近年はテレビ等のメディア音楽にも携わり、様々なアーティストのサポート、CM、アニメやゲーム音楽等のレコーディング活動も継続中。現在、帝京平成大学にて後進の指導にもあたる他、カワイ横浜にて2017年『先生、ピアノ弾きませんか?』2018年『Shigeru Kawai&細田真子ワンポイントピアノレッスン』講座を開講。大好評にて開催中。作曲家、平野義久氏の書き下ろしによる“BLEU”というユニットで、現在アマゾンにて3枚目のアルバム『10のプレリュード』が発売中。またピアノとパーカッション『打の世界』のCDを2021年に発売予定。2020年10月から愛媛新聞『四季録』にてコラム執筆。

■テレビ・アニメ音楽参加作品

- TBS系火曜ドラマ『わたし、定時で帰ります。』
- 日本テレビ系水曜ドラマ『獣になれない私たち』
- 日本テレビ系土曜ドラマ『先に生まれただけの僕』
- 日本テレビ系日曜ドラマ『ゆとりですがなにか』
- TBS系木曜ドラマ『びんとこな』
- “デスノート”、“スーパーロボット大戦”、“吟遊黙示録マイネリーベ”、“桜蘭高校ホスト部”、“はじめの一步”、“戦う司書”、“ときめきメモリアル”、“遙かなる時空のなかで”等、他多数

■公式ホームページ <http://www.masakohosoda.com>

■ブログ『猫とお酒と音楽と』 <http://ameblo.jp/masakohosoda/>

会場アクセス

バロックザール
Barocksaal
京都 青山音楽記念館

〒615-8282 京都市西京区松尾大利町9-1
TEL 075-393-0011

ホームページ
<http://www.barocksaal.com>

QRコードからアクセスできます。

右記のQRコードをスマートフォンやタブレット端末のバーコードリーダーで読み取ってください。

